

# 地震防災 マップとは?

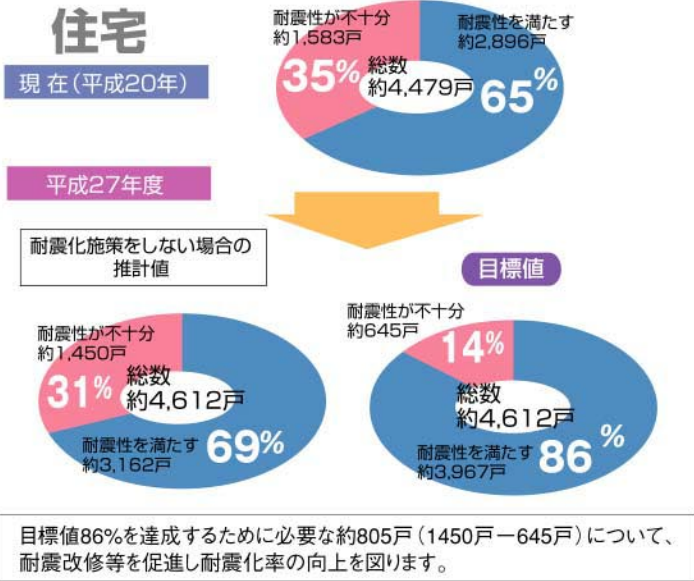
大きな地震が発生すると建物が倒壊し、家具の下敷きになるなどの被害が生じます。また、道路や電気、ガス、水道などのライフラインの寸断、火災の発生など、大きな被害に発展する恐れがあります。阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割以上が住宅などの倒壊による圧死といわれています。大きな地震から人命や財産を守るためには、住宅などの耐震化が必要です。また、地震に備えるためには、地域で発生する恐れがある地震、建物被害などの可能性を十分に理解し、防災に対する意識を高めることが重要です。地震防災マップは、地震発生時に予測される震度分布図（地域の揺れやすさマップ）と揺れによる建物被害マップに、避難所などの情報を表した地図で、災害時はもとより、日頃の防災対策に活用されるものです。



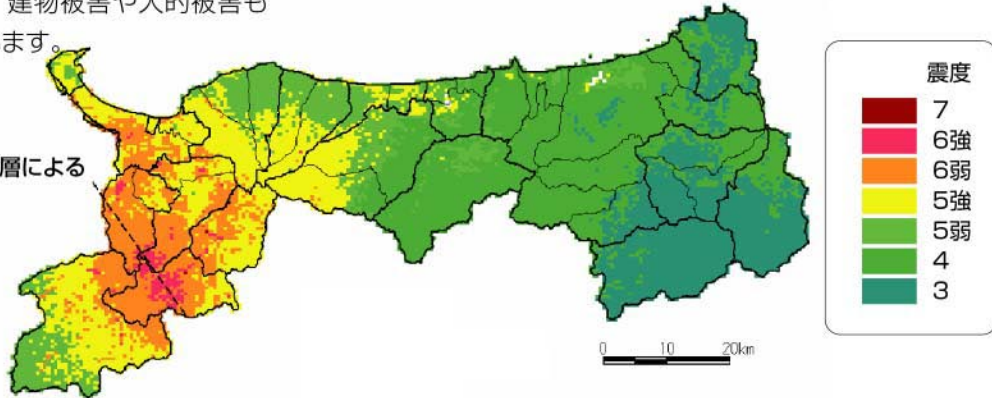
## 伯耆町耐震改修促進計画を策定しました。

伯耆町において、地震による建築物の倒壊等の被害から町民の生命、身体および財産を保護し、災害に強いまちづくりを実現し、町内の建築物の耐震化を計画的に進めていくことを目的としています。町は、耐震対策を促進するため、「自らの安全は自らが守る」、「わがまちは、わが手で守る」という自助・共助それぞれの立場からの取組みに対して、啓発活動の推進、相談窓口等の設置および耐震診断・改修事業等の技術的、費用的支援など総合的な支援としての公助を、鳥取県と連携して実施します。

伯耆町に大きな被害をもたらすと予想されているのが、鳥取県西部地震断層です。鳥取県西部地震断層が動いた場合、伯耆町に最大で震度6強の揺れが発生すると想定されており、建物被害や人的被害も一部発生すると予測されています。



鳥取県西部地震断層による地震の震度分布



鳥取県西部地震断層による地震の被害想定

出典:鳥取県地震防災調査研究報告書

市町村	建物被害		火災(冬18時)		朝4時		人的被害		冬の夕方	
	大破数	中破数	出火件数(件)	焼失棟数(棟)	死者数(人)	負傷者数(人)	夏の正午		死者数(人)	負傷者数(人)
							死者数(人)	負傷者数(人)		
旧岸本町	3	16	0	0	0	5	0	4	0	4
旧溝口町	5	40	0	0	0	11	0	6	0	6
伯耆町合計	8	56	0	0	0	16	0	10	0	10

## 地震の揺れと想定される被害

<b>震度0</b>	●人は揺れを感じない。	<b>震度5弱</b>	●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●窓ガラスが割れることがある。 ●電柱が揺れているのがわかる。
<b>震度1</b>	●屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。	<b>震度5強</b>	●多くの人が行動に支障を感じる。 ●タンスなどの重い家具や自動販売機が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難になる。
<b>震度2</b>	●屋内にいる人の多くが揺れを感じる。 ●つり下がった電灯などがわずかに揺れる。	<b>震度6弱</b>	●立っていることが困難になる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 ●耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。
<b>震度3</b>	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少し揺れる。	<b>震度6強</b>	●はわないと動くことができない。 ●固定していない家具のほとんどが移動、転倒する。 ●耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
<b>震度4</b>	●かなりの恐怖心がある。 ●つり下げてある物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てることがある。 ●電線が大きく揺れ、歩いている人も揺れを感じる。	<b>震度7</b>	●自分の意思で行動できない。 ●ほとんどの家具が移動し、飛ぶものもある。 ●耐震性の高い住宅でも傾いたり、大きく破損することがある。

## 非常持出品

### 1次持ち出し品 (災害が発生したときにすぐに持ち出すもの)

避難後必要になるものを、すぐに持ち出せるようにリュックなどにまとめておきましょう。欲張りすぎると荷物が増えて、避難時に支障が生じます。



<b>水・食料</b>	飲料水(水筒)、カンパン、クラッカー、チョコ、缶詰など調理せずに食べられるもの
<b>生活用品</b>	携帯電話、充電器、懐中電灯、ラジオ、電池、ローソク、マッチ、ライター、ナイフ、缶切り、タオル、ちり紙、石けん、毛布、カイロ、寝袋、入れ歯など
<b>衣類</b>	セーター、ジャンパー、下着1~2枚、靴下、軍手など
<b>貴重品</b>	現金、預金通帳、印鑑、免許証・保険証のコピー、証書類など
<b>救急医薬品</b>	体温計、三角きん、消毒薬、傷薬、脱脂綿、包帯、ガーゼ、ばんそうこう、はさみ、家庭常備薬、胃腸薬など
<b>その他</b>	防災ずきん、ヘルメット、厚手のゴム手袋、筆記用具など

### 2次持ち出し品 (その後の数日間を自活するためのもの)

災害復旧までの数日間を自足できるように準備しておきましょう(最低3日分)。

<b>水・食料</b>	飲料水(1人1日3リットルが目安)・生活用水(ポリ容器)、米、インスタント食品・レトルト食品など簡単な調理で食べられるもの 割り箸、スプーン、コップ、皿、ナイフなど、調理や食事に必要な道具もチェック
<b>生活用品</b>	食器、洗面用具、防水ビニールシート、ロープ、バケツ、卓上コンロ(ガスボンベ)・固形燃料、携帯用トイレ、毛布など
<b>その他</b>	赤ちゃんがいる場合は、粉ミルク、ほ乳びん、ミネラルウォーター、離乳食、紙おむつなど お年寄りなど要介護者がいる場合は、たんか、看護用品、常備薬、紙おむつなど

